

# みんな元気



第73号 令和3年9月発行

児童養護施設 共楽養育園

〒745-0801  
山口県周南市大字久米1347  
TEL / 0834 (25) 0017  
FAX / 0834 (36) 0017  
E-mail / info@kyoraku.or.jp

## 原点にかえること

若葉がまぶしい季節になりました。いつも共楽養育園の子ども達を応援していただき、誠にありがとうございます。

この春は、39名の子ども達でスタートしました。また、グループホームも「つくしの家」、「すみれの家」に続いて、「たんぽぽの家」、「若葉の家」と4ヶ所開設しました。それにつれて、本園で生活する子ども達も少なくなりましたが、それぞれの場所でゆったりと過ごすようになりました。少しでも家庭的養育に近づけたかなと思う毎日です。

子ども達はエネルギー的に日々過ごしています。そんな中、子どもの輝く表情や、友だちや職員を優しく気遣う表情にほっとさせられ、幼児期・少年期・思春期・青年期と、それぞれ大切な日々を過ごしていることを感じています。

私がこの園に来た時から、子ども達は毎日元気な声で「いってきます。」といって学校へ行き、「ただいま。」といってそれぞれの家に帰ってきてくれています。当たり前のことではありますが、その当たり前のことを、いろんな思いを抱えながら笑顔でやってのけてくれている子ども達は、本当にすばらしいと思う、そんな子どもへの気持ちは、今も変わりありません。それでも、時には感情が高ぶったまま行動したり、上手くいかずに誰かのせいにしたくなり、気持ちが逃げてしまうこともあります。人間ですから失敗もあります。失敗から学び成長していくますが、私達職員は常に子ども達から見られています。行動一つ、言葉一つが子どもの人生に大きな影響を与えていきます。子ども達の生き方を変えてしまうような失敗は避けなければなりません。私達は何をしなければならないのだろう、理念の共有、研修、OJT、職員のメンタルケア……。結局、私達が子ども達に日々丁寧に関わっていくことを積み重ねていく原点に立ちもどります。

昨年度は、園内研修として「この子を受け止めて、育むために～育てる・育ちあういとなみ～」という本を職員全員で読み、養育者として感じた事、大切にする想いなどを共有しました。日々の営みの中で、子ども達を慈しむ想い「いつもあなたを見ているよ。」「大丈夫だよ。」「大好きだよ。」を積み重ねること、子ども達と共に日々の生活の中で、小さな幸せを紡いでいくことが、子ども達の安心や成長につながっていきます。

卒園した子ども達が本園に、グループホームに、遊びにきてくれます。共楽園が「あなたが帰る場所」として存在しています。いつまでも、ここが、「ここで待っているよ。」とメッセージを送り続ける家であり続けたいと思います。

共楽養育園  
園長 安村 裕美

## 新任教師の言葉

保育士 磯村 百合江  
仕事としての予育て、我が子の予育てが40数年を超えるとしています。やどもは、日常に触れるものから多くを学び、その体験によって自らを形成していくのです。そのことを基本にしながら、携わってきたのですが、振り返ると恥ずかしく思つことばかりです。例えば、喧嘩の仲裁ひとつにしても気持ちを代弁して聞いてきたか、警察官や裁判官のようになつたように謝られていらないか反省する日々です。

喧嘩は、生きていくために解決方法を学ぶ時間、怒りすぎたり、悲しきたりの強さをうまく調整できぬ力、気持ち言葉を教えていくことです。

そのため、どんな時にも心の余裕を持ち、心身共に健康に留意していきたいと思います。

保育士 栗屋 清隆  
共楽養育園に入職して  
今年度から共楽養育園へ入職し、グループホーム「青葉の家」へ配属となりました栗屋清隆と申します。以前までは、他職種ではあります。そのため別々の児童福祉施設に勤務していました。

児童養護施設での勤務は初めてとなり、知識技術面ともに未熟な部分が多くありますが、子どもたちと接する際には、できるだけそのままの子の話してくれることに耳を傾けるようにしています。まずは、その子がどんな子なのか知ることから始め、少しずつ信頼関係を築いていきたいと考えています。その子が大人になり子ども時代を振り返った時に、「色々大変なこともあつたけど楽しかったな」と少しでも思つてもらえるようお手伝い出来たらなと思つております。子どもたちと先輩職員方から沢山学びながら、これから頑張っていこうと思つています。どうぞ、よろしくお願いします。

保育士 小林 満輝  
私は子ども一人ひとりの特性を理解してその子にあつた対応や関わり方をできるだけのような職員になつていきたいです。そのため今は子どもたちとしっかり関わっていき好きな物や苦手な物、癖などを見つけていきどんな子なのかを理解して、声かけの仕方や伝え方を自分なりに考えていきたいです。例えば子ども同士で喧嘩をしていました時に止めに入つて職員に対して暴言を言われてもすぐ怒るのではなく、ぐつぐつ泣いてしまう子どもを落ち着かせてなぜイヤイヤしているのか、どうして喧嘩になつたのかを知りその中で良くなかった事をきちんと伝え仲直り出来るよう手助けをしてあげられるような関わり方をしていきたいです。まだまだ経験不足な所もありどう動いていいのか分からなくなることもあると思うので周りの職員を頼り多くの事を学び、自分のものに出来るようにしていきたいです。子どもたちがなんでも相談できるような頼りになる職員を目指します。

## 新1年生の抱負

私は高校に入って、中学校の頃と違った厳しさを痛感しました。高校は中学校と違い通学の距離、授業時間の差、私が入った学校が特別なのかもしれません、中学校の私の考えはとても浅かったです。とても後悔しています。もっと慎重に考えるべきだった。楽に人生を生きたい私はなんとなく志望校を決めた為苦痛です。ですが、自分で選んで進学した高校で、3年間はとりあえず頑張ってみようかなと思います。  
M・Y(高1)

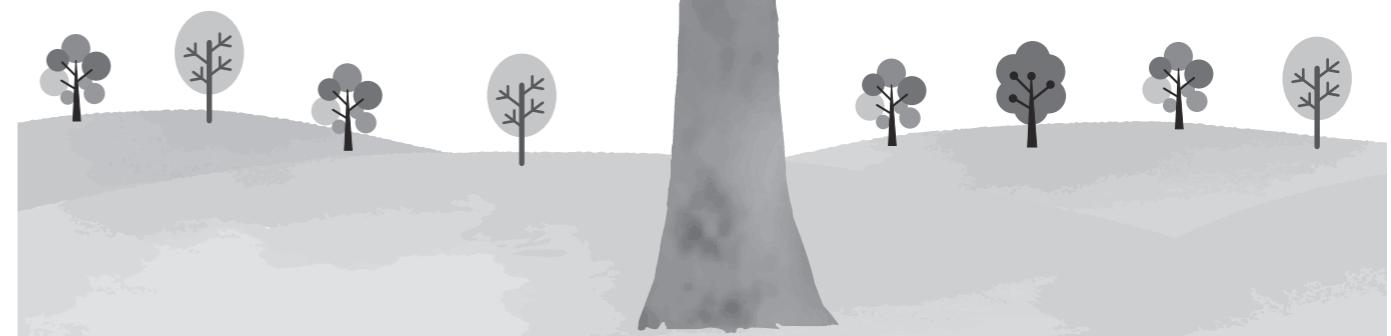
私は、進学した高校で自分の将来に向けて勉強を頑張りたいです。今、勉強を頑張つておけば、大人になって社会に出た時に役に立つと思うので頑張りたいです。 R・K(高1)

僕が高校生活で頑張りたい事は、休まずに学校に行って皆勤賞を取る事です。それは、テストで良い点数を取る事、授業を真面目に受ける事と同じぐらい、大切だからです。

それから、高校を卒業までにテストで満点を取りたいので、勉強も頑張ろうと思います。  
J・Y(高1)

私は、ソフトボール投げを頑張っています。投げるのは難しいけど、チャレンジしています。友達も出来ました。一緒に図書コーナーで本を読んでいます。刺し子も習っています。針に糸を通して布を縫います。今は、江口先生と一緒にやっていますが、いつか一人で出来るようになります。学校の畑で、野菜を育てています。野菜を4種類育てています。自分で育てた野菜はとても美味しいです。  
A・S(中1)

私は、中学校の時に学校を休む事が多く、周りの先生方に迷惑を掛けたので、高校に入ったので、なるべく休まないようにしようと思う。大好きな絵をこれからも書き続けて行こうと思います。  
Y・K(高1)



サポーとする会の助成を受けて、本園の小学生が活動に行きました。最初は、子どもの意見でSLに乗る事になっていたのですが、台風の影響でSLが運行できなくなり、急遽秋吉サファリランドに行きました。



サファリランドで楽しかったことは、ライオンやしまうまのえさやりです。らいおんは怖いイメージがあるけど、えさを食べている姿は、とてもかわいいかったです。しまうまは食べるのがんびりでした。あまりえさをあげたことがない動物だったので、とても楽しかったです。サファリランドには、自分の知らない動物がたくさんいたので、とても勉強になりました。次に、犬のふれあい広場に行きました。沢山の犬がいて、その中でも大きな犬が一番かわいかったです。とても楽しい体験をありがとうございました。 小6 M・K



## ●資金収支計算書

令和2年4月1日～令和3年3月31日

(単位：円)

勘定科目		法人合計
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入
		171,468,128
		経常経費寄付金収入
		2,604,000
		受取利息配当金収入
		11,037
	支出	その他の収入
		6,541,340
		事業活動収入計(1)
		466,945,234
施設整備等による収支	収入	人件費支出
		295,358,941
		事業費支出
		69,366,872
		事務費支出
		47,517,861
	支出	支払利息支出
		400,667
		その他の支出
		1,896,360
	事業活動支出計(2)	
	事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)	
		52,404,533
その他の活動による収支	収入	施設整備等収入計(4)
		設備資金借入金元金償還支出
		9,716,000
		固定資産取得支出
	支出	その他の施設整備等による支出
		180,000
		施設整備等支出計(5)
		16,186,204
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)	
	-16,186,204	
予備費支出(10)	収入	積立資産取崩収入
		3,714,420
		拠点区分間長期貸付金回収収入
		3,714,420
	支出	その他の活動収入計(7)
		4,570,120
		積立資産支出
		558,496
	その他の活動による支出	その他の活動支出計(8)
		5,128,616
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	
	-1,414,196	
前期末支払資金残高(12)		116,774,479
当期末支払資金残高(11) + (12)		151,578,612

## ●貸借対照表

令和3年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	165,300,363	流動負債	34,782,301
固定資産	748,965,895	固定負債	109,599,335
基本財産	540,073,043		
その他の固定資産	208,892,852		
		負債の部合計	144,381,636
		純資産の部	
		基本金	144,310,277
		国庫補助金等特別積立金	239,738,003
		その他の積立金	121,430,000
		次期繰越活動増減差額	264,406,342
		純資産の部合計	769,884,622
資産の部合計	914,266,258	負債及び純資産の部合計	914,266,258

## 編集後記

新型コロナウイルスもワクチン接種で、明るい兆しが見えてきました。世界中が楽しみにしていた、東京オリンピックも新型コロナウイルス対策をとり、無事に開催する事になりました。しかし、インド株デルタ株とウイルスが変異して、収まる気配がありません。

習慣になっている、手洗い・マスク・三密を守りながら少しでも早く終息を願うばかりです。

星出ゆり子